東京建築祭　2027

協賛趣意書

会 期： 2027 年 5 月15日（土）～ 23 日（日）

会 場： 東京都内（台東区、文京区、千代田区、中央区、港区、渋谷区、新宿区等）

主 催： 東京建築祭実行委員

協賛のお願い

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「東京建築祭」は、普段は足を踏み入れることのできない建築の特別公開や、建築家・研究者・専門家によるガイドツアー、さまざまな企画を通じて、東京の建築とまちの魅力を再発見する祭典として、2024年にスタートしました。

以来、多くの建築所有者、企業・団体、大学、専門家、ボランティア、そして参加者の皆さまに支えていただきながら、開催を重ねてまいりました。第3回となった2026年には対象エリアを上野から品川、そして渋谷まで広げ、学校建築や大使館なども加わり、のべ16.5万人の方々が建築を楽しみました。歴史的建築から現代建築まで、建築を通して東京の多様な姿を体験していただける祭りへと成長しています。

4年目となる2027年は、対象エリアを新宿へと広げます。建築の年代や用途、規模、文化的背景に関わらず、さまざまな建築に光をあて、より多様な人々が建築と都市に出会える祭りを目指します。

建築をひらき、市民と共にまちを見つめ直す「建築祭」は、世界のさまざまな都市で開催され、日本各地にも広がりつつあります。東京建築祭も、建築を通じて人や文化をつなぎ、都市についてともに考える場でありたいと考えています。

そのためにも、ひとつひとつのご縁と信頼を大切にし、皆さまとの対話を重ねながら、ともに東京建築祭を育ててまいります。
この祭りの社会的意義と可能性にご賛同いただき、東京の建築文化を未来へつないでいくパートナーとして、お力添えを賜れましたら幸いです。

2026年9月吉日

東京建築祭実行委員会

東京建築祭2026
東京建築祭 実行委員会

■開催趣旨

東京建築祭は、東京の多様な建築の見学をきっかけに、まちの魅力を再発見することを目的として、多様な建築体験を提供します。

■開催実績

第1回　2024年　参加建築　65件　来場者　のべ約65,000人

第2回　2025年　参加建築　128件　来場者　のべ約110,000人

第3回　2026年　参加建築　150件　来場者　のべ約165,000人

第3回開催レポート

https://2026.kenchikusai.tokyo/wp-content/uploads/2026/08/TAF2026_Report_260818.pdf

■今後の展望（2027年）

2027年は、建築所有者、つくり手、企業、大学・学校、大使館、文化施設、専門家、地域などとの連携をさらに深め、それぞれの知見や活動を生かした企画を共創してまいります。建築を起点に、さまざまな分野が交わることで、東京建築祭ならではの新たな体験や価値を生み出していきます。

■社会的意義

東京建築祭は、以下のような社会的な価値を有しています。

1. 文化資産の再発見と継承

   歴史的・現代的建築を次世代につなぐ取り組み。

2. 都市の魅力と多様性の発信

   東京に蓄積された歴史、文化、産業、教育、国際性など、都市の多層的な魅力を発信する 。

3. シビックプライドの醸成

   身近な建築やまちを新たな視点から知ることで、自ら暮らし、働く都市への愛着や誇りを育む。

4. 文化・地域・ひとをつなぐ交流の創出

   異なる立場の人々が建築を介して出会い、交流する機会を生み出す。

5. 教育・次世代への継承

   建築や都市を学ぶ機会を社会にひらき次世代の関心と学びにつなげる。

■ご協賛特典

1. **公式媒体でのロゴ掲載**

   公式ウェブサイト、パンフレット、ポスター等に、協賛プランに応じてロゴを掲載します。東京建築祭の幅広い発信を通じ、多くの方々に御覧いただけます。

   ※参考）2026実績：公式ウェブサイト 約645万PV

2. **特別イベントへのご招待**

   建築祭の幕開けとなるキックオフイベントや、関係者が集まるクロージングイベントにご招待します。建築祭に関わる多様な方々との交流の機会としてご活用いただけます。

3. **開催レポートのご提供**

   来場者数やプログラム実績、メディア掲載状況などをまとめた公式レポートをご提供します。社内での活動共有や次年度のご検討等にご活用いただけます。

4. **公式SNSでのご紹介**

   東京建築祭公式X、およびInstagramにて、協賛企業・団体の皆様をご紹介します。ご参加の意義や、建築・まち・文化に関わる取り組みを、東京建築祭に関心を寄せる方々へ届ける機会となります。

   ※参考）2026実績：公式Xフォロワー1.5万人、Instagramフォロワー2.4万人

東京建築祭へのご協賛を通じて、それぞれの企業・団体の皆さまとともに、建築を起点にまちや文化を育てていくパートナーシップを築いてまいりたいと考えております。

東京建築祭2027 開催概要

■名称：東京建築祭

https://kenchikusai.tokyo/

会期： 2027 年 5 月 15日（土）- 23 日（日）

会 場： 東京都内　台東区、千代田区、中央区、港区、渋谷区、新宿区等　所在の各参加建築170件以上

■プログラム概要

2027 年 5 月 22 日(土)-23 日(日)　10：00-17：00

・特別公開・特別展示(無料・申込不要)

2027 年5 月 15 日(土)-23 日(日)　10：00-17：00

・ガイドツアー(有料・要申込)

・各種企画・イベント

書店フェア/トークイベント/ライブ配信/ワークショップ等

■主催者情報

東京建築祭実行委員会

実行委員長	野村和宣(神奈川大学 教授)
実行委員	伊藤香織(東京理科大学 教授)
	志岐祐一(株式会社日東設計事務所)
	田所辰之助(日本大学 教授)
	松岡孝治(公益財団法人東京観光財団)
	宮沢洋(株式会社ブンガネット 代表)
	以倉敬之(合同会社まいまい 代表)
監事	田中慎(税理士法人田中経営会計事務所 税理士)
事務局	合同会社まいまい

協賛募集要項

文化資源としての建築に親しみ、東京というまちの魅力を再発見する東京建築祭の社会的意義にご賛同いただく皆さまとパートナーシップを築き、この催しを持続的に育て、より多くの方々に届けてまいりたいと思います。皆さまからお寄せいただく協賛金は、東京建築祭の実施・運営のために大切に活用させていただきます。

ご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

■協賛プラン

1口300,000円

口数 ※一口30万円	金額	広報ツールへの掲載					開催レポート	キックオフイベント	クロージングイベント	広報連携 企業研修 独自企画
		プレスリリース	公式サイト	ポスター	パンフレット	SNS				
5口	￥1,500,000	社名記載	ロゴ特大	ロゴ大	ロゴ大	パートナーメッセージ	ロゴ特大	招待	招待	応相談
3口	￥900,000	社名掲載	ロゴ大	ロゴ中	ロゴ中	パートナーメッセージ	ロゴ大	招待	招待	応相談
2口	￥600,000	社名掲載	ロゴ中	ー	ー	パートナーメッセージ	ロゴ中	招待	招待	
1口	￥300,000	社名掲載	ロゴ小	ー	ー	パートナーメッセージ	ロゴ小	招待	招待	

※お申込みの時期によっては特典のご提供が難しい場合があります。

※その他の企画（実施内容・金額応相談）

建築やまち、文化に関わる企画をはじめ、社内向け講演会や研修ツアーなど、東京建築祭の趣旨に沿った連携についてご相談いただけます。

■協賛募集期間

2026年9月1日〜2027年4月30日

※パンフレット・ポスターは制作期間の関係上、上記期間前（1月頃）に締め切る場合がございます。
詳細は、申込担当者までお問い合わせください。

■申込方法

別紙協賛申込書に記入の上、社名ロゴの正式データ（ai形式）と共に事務局の貴社担当者又は以下の協賛申込担当へメール添付にてお送りください。印刷物等への掲載に使用するため、画像のスクリーンショットや低解像度のデータではなく、できるだけ高解像度・高品質のロゴデータをご提供くださいますようお願いいたします。

■パートナーメッセージについて

ご協賛いただく皆さまには、東京建築祭公式SNSにて、パートナーメッセージをご紹介する機会をご用意しています。 メッセージは400文字程度を目安に、以下の内容を参考にお寄せください。

1. 東京建築祭へのメッセージ
2. 貴社の取り組みや大切にしていること
3. 今後への期待

- メッセージとあわせて、建築、空間、活動風景、プロジェクト、社員の皆さまの様子など、メッセージの内容が伝わる写真を推奨します。掲載用写真を1〜2点ご提供ください。

※ご提供素材詳細につきましては、事務局より別途ご案内します。

■問い合わせ及び申込先

東京建築祭実行委員会 事務局
住 所：東京都中央区日本橋小伝馬町 16-5
協賛申込担当：office@kenchikusai.tokyo（大島）